

令和4年度 多可町 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：8名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - * 認知症相談センターとしての相談・対応
 - * 認知症ケアネットの普及
 - * SOSネットワークの普及・拡大
 - * 地域支援者の仕組みづくり・支援



報告者氏名： 多可町役場ふくし相談支援課
（地域包括支援センター）
大江・足立・高瀬・下原・岸部

多可町の認知症施策について

多可町が目指す姿（多可町第8期介護保険計画より）

◆基本理念 みんなで支えあい、安心して健やかに暮らせるまち ◆基本方針 認知症施策と権利擁護の推進



	認知症発症を遅らせる取組 (一次予防)の推進	早期発見・早期対応(二次予防)、 発症後の進行を遅らせる取組(三次予防)の推進	認知症の人本人視点に立った 「認知症バリアフリー」の推進
普及啓発・ 本人発信支援	<p>認知症サポーター養成講座 認知症に対する正しい知識や対応方法を身につける講座です。 ★集落だけでなく、小学校や高校、企業、老人会等で実施します。</p>	<p>相談窓口の周知 町内に6か所の認知症相談センターがあり、身近に相談できる体制があります。 ★R4年度より新たに1箇所増えたため、PRをしていきます。</p>	<p>絆カフェ（本人発信・家族支援） お茶を飲みながら気軽に認知症等の相談や、本人や家族同士の交流が行える場です。 ★コロナ禍でも実施を検討できるよう、事業所の連絡会を定期的に行い、チームオレンジと連携します。</p>
予防	<p>認知症予防健診 町ぐるみ健診や後期高齢者健診で認知症チェックリストまたはタッチパネルを実施します。 ★認知機能の低下が認められる場合は、予防教室や医療・介護につながります。</p>	<p>リフレッシュ教室 医療専門職によるもの忘れ予防の教室です。 12回コースを年2回実施。 ★終了後は地域の居場所へつながります。</p>	
	<p>73歳タッチパネル実施 ★R4年～実施 75歳の運転免許更新前の73歳を迎える方を対象に認知症タッチパネルを実施しています。</p>	<p>元気あっぱ広場 週1回公民館でいきいき百歳体操を行います。 ★1年目、5年目に認知症タッチパネルを実施します。</p>	
医療・ケア・介護サービス・ 介護者への支援		<p>認知症初期集中支援チーム サポート医と医療・介護の専門職で構成するチームが訪問し、早期対応に向けた支援を行います。</p>	<p>認知症ケアネット 認知症の様態に応じたサービス提供の流れをまとめたものを作成しています。</p>
認知症バリアフリーの推進・ 若年性認知症の人への 支援・社会参加支援		<p>チームオレンジ ステップアップ講座を受講した認知症サポーターが認知症の人やその家族への支援を行います。 ★R4年から活動始めます！</p>	<p>成年後見制度の利用促進 認知症等により、判断能力が十分でない方が不利益とならないように、家庭裁判所に申し立てをし、後見人を選任してもらう制度です。 ★研修会を行います。</p>
			<p>あんしんはーとねっと事業 認知症などで行方不明になる恐れのある方の情報を事前に警察へ登録し、行方不明の捜索に役立ちます。 ★R4年秋頃に捜索訓練を検討しています。</p>

テーマ番号 <⑤>

標題 多可町における認知症サポーターの具体的活動支援

「チームオレンジの立ち上げ支援」

(R3年度から継続)

(目的)

認知症の人ができる限り住み慣れた場所で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーター等をつなぐ仕組みづくりを整備し、認知症施策推進大綱に掲げた「共生」の地域づくりを推進する。

(目標)

チームオレンジの方向性を決め、活動の場を作る

R4年度の活動



認知症地域
支援推進員



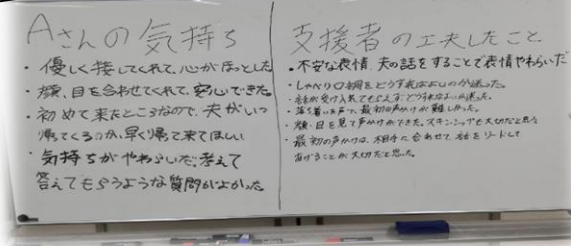
ステップアップ講座受講者

ボランティアしたいけど、
もっと認知症について勉強してから活動したい！

勉強できる機会を作りましょう！



勉強会



絆カフェ見学



推進員が認知症の方への
関わり方のポイントを
説明し、ロールプレイを
実施しました。

他市の絆カフェに見学に行き、
認知症の方とご家族と交流しました。

R4年度の活動

絆カフェ



参加者：住民25人
ボランティア：8人
推進員：5人

ボランティアが進行し、
推進員は参加者の方の
相談に乗ったり、参加者
へ声かけをしました。



R4年度の活動



認知症について勉強したから、
次はチームオレンジでなにをするかみんなで考えよう！

メンバー会議



推進員がファシリテーター
を務め、メンバーで
どんなことがしたいか話し
合いました。



絆カフェをしてみよう

今年度中に、絆カフェのお試
しをすることとなる。
R5年から本格的にチームオレ
ンジとして活動することに決定

認知症地域支援推進員活動の成果課題



- ・ボランティアの方と一緒に活動の方向性を検討することができ、地域住民の方と推進員の距離が近くなったと感じる。
- ・ボランティアの方が今後も主体的に継続して活動していくための支援として、チームオレンジの規約作成や補助制度の検討等、ボランティアの方と協働して取り組むことができた。
- ・推進員が兼務であり、事業所に委託していることから担当が変わることが課題。活動の方向性を検討し、共有する場を持つなど工夫を行っている。チームオレンジの活動の中では、推進員として相談できる体制の確立や当事者の声を発信する方法を検討していく必要がある。
- ・R5年度もステップアップ講座を実施し、チームオレンジの活動をチーム員より紹介してもらい、新たなボランティアの育成を図っていく。

最後に・・・

ボランティアの方々の積極的な姿勢に感動し、認知症に関心をもち協力していただける方が地域にいらっしゃることに心強く感じました。今後も認知症になっても住み慣れた自宅で過ごすことができるような町を目指し、行政・医療機関・介護施設等が連携していきたいと思えます。